

アンケート調査結果

■有効回答数

地区	総数（18歳以上）	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
庄原市（全体）	1208	26	61	94	136	274	351	266
2989_（旧：庄原市）	199	7	14	23	26	45	45	39
2990_（旧：総領町）	188	2	6	9	22	53	54	42
2991_（旧：西城町）	160	3	5	9	20	31	53	39
2992_（旧：東城町）	151	4	9	15	16	38	44	25
2993_（旧：口和町）	166	4	11	14	19	36	46	36
2994_（旧：高野町）	176	4	6	13	15	37	54	47
2995_（旧：比和町）	168	2	10	11	18	34	55	38

Q6. 本庁窓口を2025年の1年間に何回程度利用しましたか。（単一回答・SA）

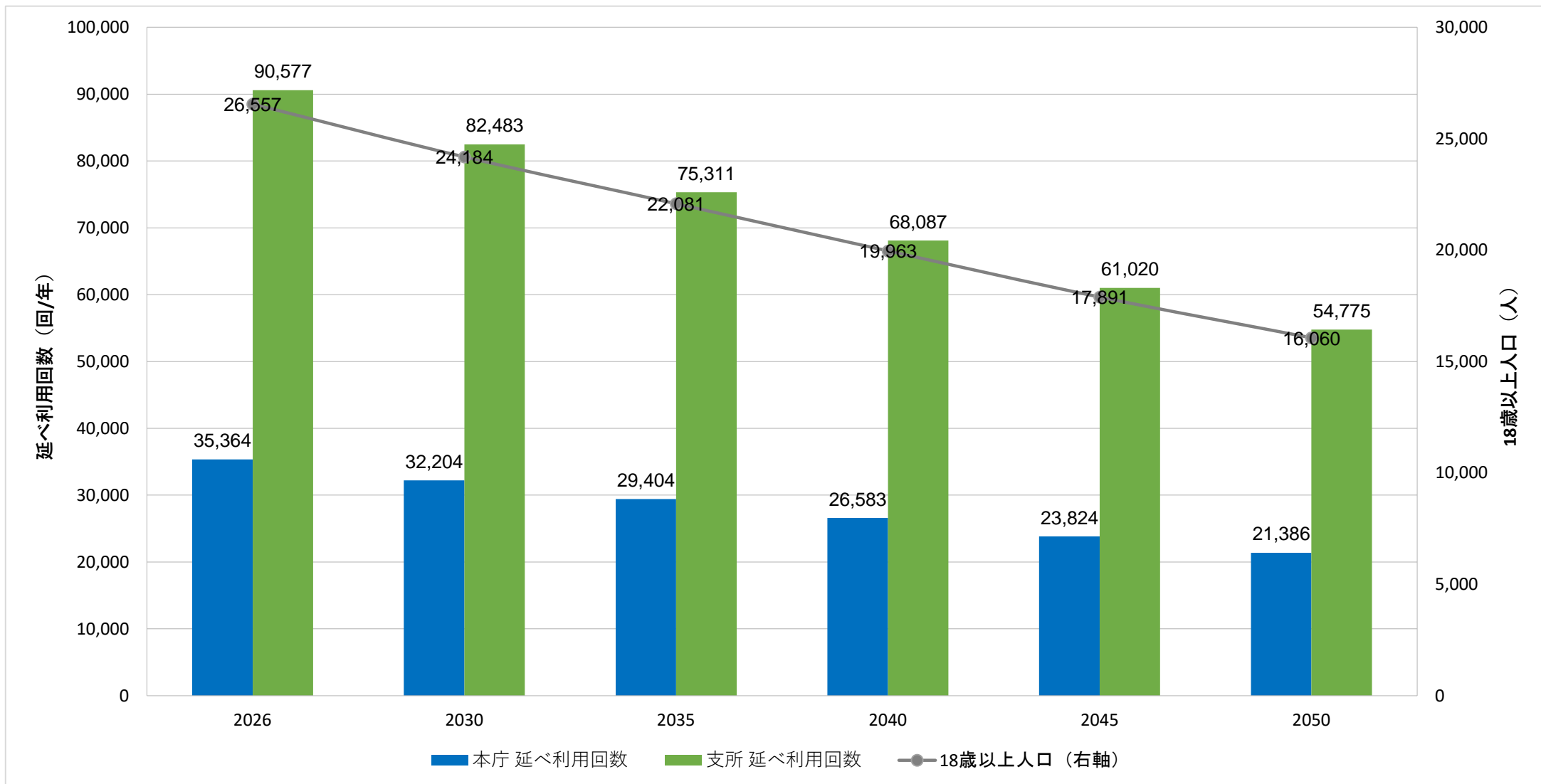
カテゴリ	n	利用していない	1回	2~3回	4~5回	6~9回	10~15回	15~20回	20回以上	覚えていない／わからない	無回答
全体（N=1,208）	1208	61.4%	9.8%	15.3%	6.0%	2.9%	1.1%	0.5%	0.6%	1.4%	1.1%
庄原地域（N=199）	199	19.6%	16.1%	32.7%	17.1%	8.0%	3.0%	0.0%	0.5%	2.0%	1.0%
西城地域（N=188）	188	67.0%	9.0%	11.2%	3.7%	3.2%	1.1%	1.1%	0.5%	2.1%	1.1%
東城地域（N=160）	160	77.5%	6.3%	8.1%	3.1%	1.3%	0.0%	0.6%	0.0%	1.3%	1.9%
口和地域（N=151）	151	60.3%	7.3%	17.2%	6.6%	2.0%	0.7%	0.7%	0.7%	1.3%	3.3%
高野地域（N=166）	166	76.5%	4.2%	10.2%	4.2%	2.4%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	0.6%
比和地域（N=176）	176	68.8%	13.6%	9.7%	3.4%	0.6%	0.6%	0.6%	1.7%	1.1%	0.0%
総領地域（N=168）	168	67.9%	10.1%	15.5%	1.8%	1.8%	1.2%	0.6%	0.0%	1.2%	0.0%

Q17. 支所窓口を2025年の1年間に何回程度利用しましたか。（単一回答・SA）

カテゴリ	n	利用していない	1回	2~3回	4~5回	6~9回	10~15回	15~20回	20回以上	覚えていない／わからない	無回答
全体（N=1,208）	1208	27.0%	9.3%	27.2%	13.3%	8.0%	5.1%	1.2%	3.0%	2.5%	3.4%
庄原地域（N=199）	199	53.3%	6.0%	15.1%	7.0%	3.0%	2.0%	0.0%	1.5%	2.5%	9.5%
西城地域（N=188）	188	22.3%	12.2%	24.5%	18.1%	11.2%	4.3%	0.5%	3.7%	1.1%	2.1%
東城地域（N=160）	160	26.3%	6.9%	33.8%	12.5%	7.5%	5.0%	1.9%	2.5%	1.3%	2.5%
口和地域（N=151）	151	17.2%	12.6%	27.8%	18.5%	5.3%	7.9%	3.3%	3.3%	2.6%	1.3%
高野地域（N=166）	166	17.5%	6.6%	27.7%	17.5%	13.3%	6.0%	3.6%	4.2%	1.8%	1.8%
比和地域（N=176）	176	22.7%	11.9%	27.8%	10.8%	9.1%	6.3%	0.0%	4.5%	5.1%	1.7%
総領地域（N=168）	168	24.4%	8.9%	36.3%	10.1%	7.1%	5.4%	0.0%	1.2%	3.0%	3.6%

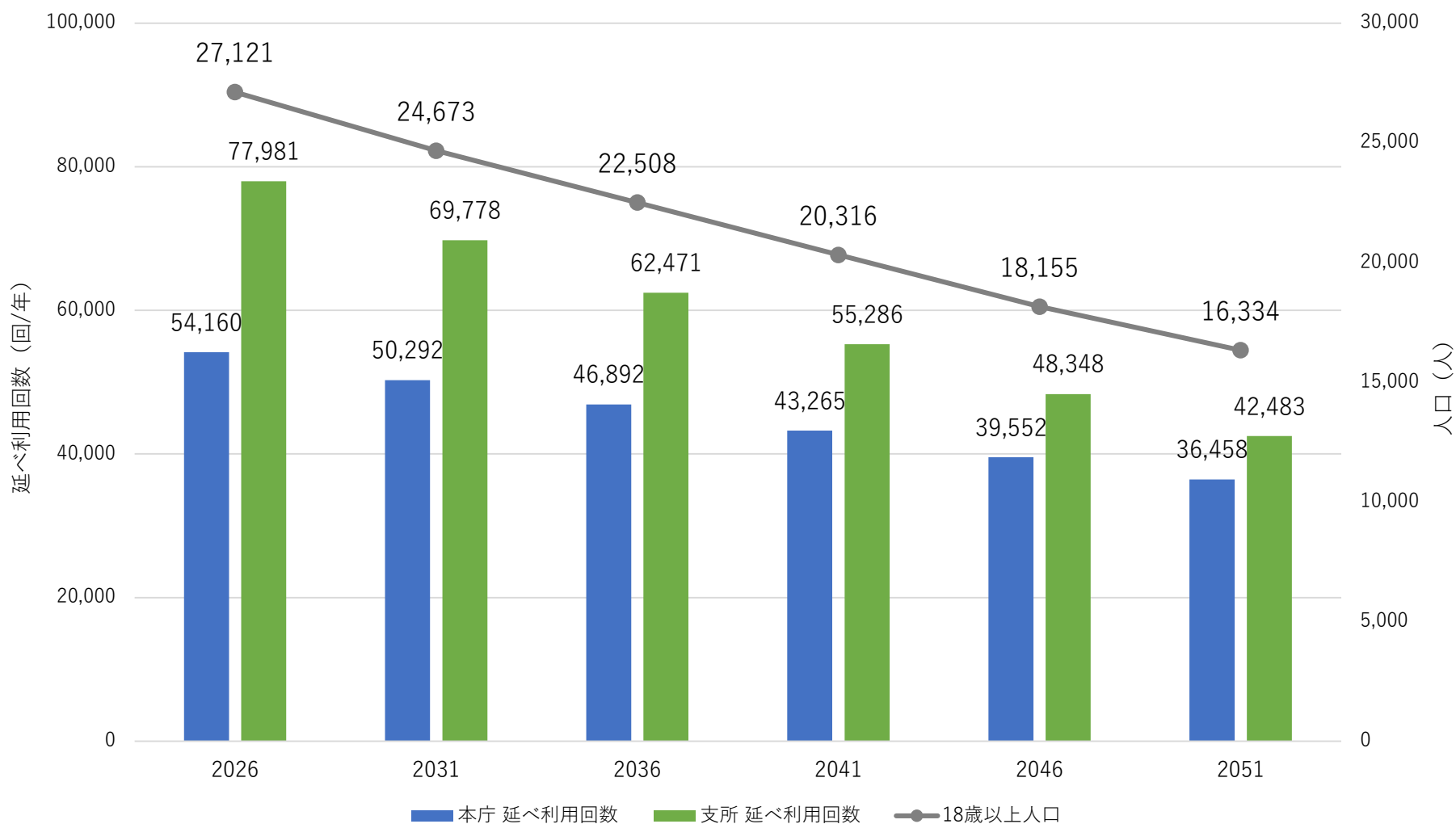
3.窓口利用需要の定量化に係る分析 3) 本庁・支所の利用回数 将来推計

- ・本庁・支所の将来年間延べ来庁回数を「原単位法」により推計した。原単位とは1人あたりの年間利用回数（回/人・年）のことで、母集団拡大推計の結果を**現況18歳以上人口（26,557人）で除して算出した**（本庁：1.33回/人・年、支所：3.41回/人・年）。
- ・来年間延べ来庁回数の単位が将来も不変と仮定し、社人研将来人口（18歳以上）に乗じて推計した結果、2050年には本庁で約21,386回（現況比約60%）、支所で約54,775回（現況比約60%）まで縮小する見通しとなった。



3.窓口利用需要の定量化に係る分析 3) 本庁・支所の利用回数 将来推計

- ・本庁・支所それぞれの将来年間延べ来庁回数を、「原単位法」により推計した。アンケート調査の回答を数値化し、7地区ごとに1人あたり年間平均利用回数（原単位）を算出したうえで、**住民基本台帳に基づく地区別18歳以上人口を乗じて市全体の延べ利用回数を推計した。**将来推計においては、原単位を基準年（2026年）で固定し、地区別将来人口と乗ずることによって算出した。
- ・推計の結果、18歳以上人口の減少に伴い本庁・支所ともに利用回数は減少し、2051年時点で本庁は約36,458回（現況比67%）、支所は約42,483回（現況比55%）まで縮小する見通しとなった。



【支所利用者が多い要因】

- 有効回答数が支所地域の人数が多いこと。
- 支所は本庁と比較し、複数回、来庁されている方が多い傾向があります。

【再集計の考え方】

- 有効回答数が支所地域の人数が多いため、一人当たりの来庁回数を「単純に全市の人口で割り戻す」と支所地域の回答の影響が大きくなります。
- 今回の再集計では、一人当たりの来庁回数を「各地域の人口で割り戻す」方式により再整理を行いました。

【アンケート結果から推計する延べ来庁者数】

前回集計	：本庁35,364人	支所90,577人	本庁に対する支所比：2.56倍
今回再集計	：本庁54,160人	支所77,981人	本庁に対する支所比：1.44倍

【アンケート結果の活用について】

- 本庁支所地域の回答数など、特殊要因も分析を行い、必要な補正や留意事項の整理を行った上で、来庁ニーズの把握など結果の活用にします。
- その他の結果の活用についても、年齢層による回答数の偏りなど、個別に分析を行い、適切にニーズが把握できるよう留意して、結果を活用します。